








落合二中 家庭学習の手引き 1年

教科	家庭学習はこのように取り組もう!	試験前はこのように取り組もう!
国語 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字のワークや、国語ワークに少しずつ取り組みましょう。試験前にあわてないように、少しずつ進めておくのがポイントです。特に漢字は繰り返し練習しましょう。 【ICTの活用】 学びポケットのドリルパークの漢字ドリルを繰り返し練習しましょう。ベーシックドリルやパワーアップドリルも時々取り組んでみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業で取り組んだことを、ノートや教科書を見たり書き写したりしながら、繰り返し復習しましょう。「繰り返し」ことが最重要ポイントです。 ②漢字を繰り返し練習しましょう。完全に覚えて書けるまで練習するのがポイントです。 ③ワークの問題に取り組みましょう。一回だけではなく、3回まわしましょう。
社会 	<ul style="list-style-type: none"> 授業があったその日に、プリントやノートをしっかり見返しましょう。単に語句を覚えるだけではなく、「なぜ」「どうして」といったつながりを考えることが大切です。また、ワークやドリルパークなどを活用して繰り返し問題に取り組みながら学習内容を定着させましょう。 地理はグラフや表、地図などの資料を正確に読み取れるかどうか大きなポイントになります。授業で扱った資料は必ずその日のうちに振り返り、要点を改めて考える習慣をつけてください。 歴史は「なぜ」「どうして」その出来事が起こったのかを理解することが大切です。用語を覚えるだけではなく、授業内容を整理しながら、「なぜ」「どうして」という視点をもって復習に臨むようにしてください。 【ICTの活用】 授業の復習として、ドリルパークやeライブラリを活用しましょう。一問一答形式の問題は用語の確認に最適ですが、その際には、単に用語を覚えるのではなく、必ずその意味まで理解するように心がけましょう。 NHK for schoolにある地理や歴史の解説動画なども、授業内容の確認や補助として活用してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークやドリルパークなどを活用し、繰り返し問題に取り組ましましょう。 ワークは自分で必ず丸付けと間違い直しをていねいに行い、どこを間違えたのか、なぜ間違えたのかを明らかにすることが大切です。特に、漢字の間違いには気を付けましょう。 プリントやノートの赤字、線を引いたところなど、授業中で扱った大切なポイントは、自分で意味や関係性を説明できるレベルまで確認しておきましょう。 社会は暗記だけでどうにかなる教科ではありません。日ごろから勉強を習慣化して、力をつけていかなければならないことを忘れないでください。
数学 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で習ったその日のうちに、教科書の例題やワークの問題を自力で解き、解き方を完全にマスターしましょう。 丸付けとやり直しはていねいに行い、正しい途中式や考え方もすべて書きましょう。分からない箇所はそのままにせず、数日後にまた間違えた問題を自力で解き直しましょう。 文章題のような応用問題は、まずは、じ 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に出てくる重要な新しい用語を確認し、その意味もしっかり理解してください。 教科書やワークの例題を全て解いて、ワーク、ドリルパーク、eライブラリなどで類似問題を解いてください。特に、間違えた類似問題は繰り返し解きましょう。1度間違えた問題を2度間違えてしまったら要注意です。

	<ul style="list-style-type: none"> つくりと悩んで粘り強く考える時間をとりましょう。例題で使った解き方や考え方をうまく使えないかいろいろと試行してみましよう。徐々に思考力が高まっていきます。 【ICTの活用】 ドリルパーク（ベーシックドリル・パワーアップドリル）を自分の学力に応じて解いてみましょう。分からないときは、画面右上にある「考え方を確認」で、ステップに分けた解説を見てください。また、「理解を深める」で類題も解くことができます。 復習するときに、授業で習ったポイントを、eライブラリの解説教材の「ポイント」と合わせて確認して、確認問題を解くと大変有効的です。また、「プリント教材」で全国の高校入試の問題を解くことができます。習った範囲で解ける問題があるか調べて、どんどん挑戦してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> テストは時間が決められています。問題をたくさん解いて、正確さとスピードの両方を身に付けていきましょう。
理科 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書とノートを見て、その日の授業を思い出し、復習をしましょう。授業内容の理解がより深まります。暗記するだけではなく、なぜそうなるのかを常に意識し、解決しようと心掛けて進めていきましょう。 授業中に気になったことはすぐに自分で調べましょう。理科で疑問に思うことは大切なことです。小さな「なぜ?」を大きく大きく広げて、科学への興味関心を高めましょう。課題やワークなどを積極的に取り組んだりするのも忘れずに。 【ICTの活用】 空き時間などでドリルパークなどを上手に活用して苦手な所を何度もくり返し解き、どんどん苦手を減らしていきましょう。 NHK for school や YouTube などには面白いだけではなく、分かりやすく学びながら見ることが出来る動画がたくさんあります!積極的に見ておきましょう。特に授業の復習に関係する動画を中心に観てみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストや完全学習(ワーク)を、繰り返し学習することが大切です。一度解いた際に間違えてしまった問題にチェックをつけ、試験直前に再度確認すると良いでしょう。 教科書の太字や、ノートに書いてあることを覚えましょう。教科書だけで分かりにくい所は、理科便覧や動画などを見て様々な方向からみていきましょう。 理科の実験はとても大事です。実験でどんなことを行ったのか、結果がどうだったのか、そこから何が分かったのかを復習しましょう。
音楽 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日取り組むような課題は特にありませんが、その日の学習内容の振り返りや、学習プリントの間違い直し、定期考査前の復習などを行いましょう。 音楽室では、今もまだ大勢で大きな声で歌うことが難しいので、授業で学習している曲を、可能であれば家庭でマスクをとって、歌ってみてください。 【ICTの活用】 スクイメニューの録画機能を使って自分の歌を撮り、再生、確認すると、技術の向上に役立ち、オススメです。(ただし、容量が大きいので確認後は削除しましょう。) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書、楽譜、学習プリントなどをよく見直し、授業での学習内容を思い出して、復習しましょう。

 <p>美術</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 作品が授業内に終わらない場合は、提出日までに各自で完成させましょう。 • 1年を通して「美術鑑賞レポート」と「模写」作品を受け付けています。レポートは「鑑賞」の成績に、「模写」作品は「技能」の成績に加点します。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業で試験範囲のポイントを説明します。そこを中心に学習しましょう。勉強した人ほど高得点が取れる、努力重視型の試験です。
<p>体育 (男子)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の中で、説明があった単語やルールを復習しておきましょう。 • 体力向上のために、ランニングや体幹トレーニングなど、家庭でも取り組みましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業時に撮影した動画を家庭で確認し、次の授業時に課題意識をもった状態で参加しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業中に説明があった内容をよく確認しましょう。 • 実技については、中学校体育実技を活用しましょう。 • 保健分野はノートをよく確認しておきましょう。 • 授業内での安全面や技能面の重要なポイントを振り返っておきましょう。
<p>体育 (女子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 授業で習ったことをしっかりと学習カードに書き留めましょう。 • 授業の中で配られたプリントや学習カードをよく見直しておきましょう。 • 授業で体育のない日にも、適度な筋トレやストレッチを行って、体力や柔軟性を高めていきましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業で撮影した動画を見て、課題を見つけ、次回の授業に生かせるようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業で配布したプリント、教科書、学習カードのポイントを中心に勉強を進めましょう。 • 提出物は、期限までに必ず出しましょう。
<p>技術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 用語の意味を理解し、覚えましょう。 • 授業中で習った製図法について理解し、描けるようにしましょう。 • プリント教科書を1日5分でも良いので目を通しましょう。 • 理解できていないところはそのままにせず、友達に聞か先生に聞きに来ましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 定規を使って正確に線をかけるようにしましょう。 • 等角図、第三角法による正投影図は練習してかけるようになりましょう。 • 図に大きさを入れるため、寸法の入れ方と寸法補助線、寸法線をマスターしましょう。(2学期以降になります)
<p>家庭</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 道具や材料などの名前を覚えましょう。そして、積極的に家庭の仕事を手伝い、学習を通して分かったこと、できるようになったことを繰り返し実践していきましょう。 • 特に、長期休業中はできることをいくつか決め、計画的かつ定期的に取り組みましょう。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 授業時に調理や被服製作のポイントを写真や動画を参考にして、家庭実践の際に生かしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> • 試験範囲の教科書をしっかり読み直し、大切なところにマーカーを引き、確認しましょう。 • プリントを参考にして、繰り返し覚えましょう。 • 実習技能は、実生活の中で繰り返し取り組むことで技能が定着します。

<p>英語</p> 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業での音読練習を思い出し、教科書を自分が読めるようになるまで(3~5回を目安に)音読しましょう。音読で読める・意味が分かる英語を増やすことが、英語力の底上げになります。発音に気を付けながら、大きな声で発話しましょう。 • 授業で出てきた単語は、ふだんのチェックテストに向けてどんどん言える・書けるようになるまで練習しましょう。自習ノート等で練習し、日本語→英語に書けるようにしておきましょう。教科書だけでなくミラボの単語帳も活用してください。 <p>【ICTの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1問1答形式なので、単語の復習に活用できます。特に単語が分からなくて文章が読めない、英語が分からないと感じる人は繰り返し活用しておきましょう。 • ライブラリにある「ゴーゴーサンセットタウン」はリスニングの練習に有効です。楽しみながら取り組めるので、ぜひ活用してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教科書の文章を音読しましょう。 • チェックテストで出た新出単語や、教科書の新出表現を覚えることで表現の幅が広がります。 • エイゴラボの問題を解きましょう。間違えた問題には印をつけ、できるようになるまで繰り返すことが大切です。文法内容の定着につながります。 • 発音の確認やリスニングの練習をしたい時は、教科書のQRコードをタブレットで読み取り、本文や新出語句の発音を聞いてみましょう。
--	--	---

自分に合った勉強方法を早く見つけて、努力し続けよう!!